

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

202 年 月 日

介護保険制度の改善を求める請願署名
介護する人・受ける人がともに大切される制度へ

介護保険は施行22年を経過しました。しかし必要なサービスを利用できない実態が広がっており、家族介護を理由とした介護離職も高止まりです。介護事業所では、深刻な人手不足と、低い介護報酬のもとでの経営難が続いており、コロナ禍はこうした事態をいっそう加速させています。

政府は、2023年通常国会に向けて介護保険見直しの検討を進めています。利用料2割・3割負担の対象者拡大、要介護1、2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入、補助杖などの福祉用具の貸与から購入への変更など、負担増と給付削減の提案が目白押しです。利用者と事業者双方にさらなる矛盾、困難を押しつけるものであり、認めることはできません。

2022年2月から新たな介護従事者の処遇改善が開始されています。しかし全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準であり、ケアマネジャー、訪問看護師、福祉用具相談員などが対象から外されているなど職場に混乱と分断をもちこむ内容です。10月からは介護報酬に組み込むとされており、新たな利用料負担が発生します。また、政府はテクノロジー機器の導入と引き替えに、職員の配置基準を大幅に引き下げようとしています。人手不足を解消し、行き届いた介護を実現するためには、介護報酬を引き上げ、処遇を改善し、介護従事者を大幅に増やして、一人夜勤をなくし複数にすること、人員配置基準の引き上げこそ必要です。

コロナ感染対策強化として、検査・ワクチン体制の整備、在宅・施設での陽性者・クラスター対応への支援、事業所に対する公費による減収補填などが求められます。

利用者、介護事業所・従事者が直面している困難の早急な打開と、介護保険制度の立て直しが急務です。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を求め、以下請願します。

請願項目

1 介護保険の利用に新たな困難をもたらす利用料の引き上げ、要介護1、2の生活援助などの保険はずし、ケアプランの有料化、貸与の福祉用具を購入に変更するなどの見直しを行わないこと

2 全額公費により、すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと

3 利用者が安心して介護を受けることができ、介護事業所・従事者が不安なく介護を提供できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を強化すること

4 介護保険料、利用料、食費・居住費などの負担軽減、介護報酬の改善など、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政における国庫負担の割合を大幅に引き上げること

(※氏名・住所は、名字など同じ場合でも略式「〳」ではなく、フルネームでお書き下さい)

氏 名	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

〈取扱団体〉
中央社会保険推進協議会(社保協)
全国労働組合総連合(全労連)
全日本民主医療機関連合会(民医連)
東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館7階
(TEL) 03-5842-6451 (FAX) 03-5842-6460

※この署名は、国会、関係省庁に提出する以外に使用しません

(2022年7月)

2022 年 11 月 25 日 (毎月 3 回 5・15・25 日 発行) 兵庫保険医新聞 (昭和 43 年 6 月 12 日 第三種郵便物認可 年間購読料 12,000 円) 号外 1

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2022年11月25日号 No.331

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

第 37 回支部総会記念講演

新型コロナワクチンの効果、有効性と副反応をくわしく説明

講師 大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授

大阪大学名誉教授 宮坂 昌之 先生

講師の宮坂昌之先生（左上）が、新型コロナワクチンの効果と副反応について解説

支部は11月5日に伊丹市内で第37回支部総会を開催。医師・歯科医師ら30人が参加し、2021年度活動まとめと22年度活動方針を承認した。記念講演では、「新型コロナワクチンの効果、有効性と副反応」と題し、大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授・大阪大学名誉教授の宮坂昌之先生が講演した。

宮坂昌之先生は、新型コロナウイルスのワクチンとして接種されているmRNAワクチンの開発とその安全性を強調した。また、妊婦へのワクチン接種で不妊、流産、奇形は増えていないと説明し、mRNAワクチン開発の歴史は今から10年以上前にさかのぼり、海外では

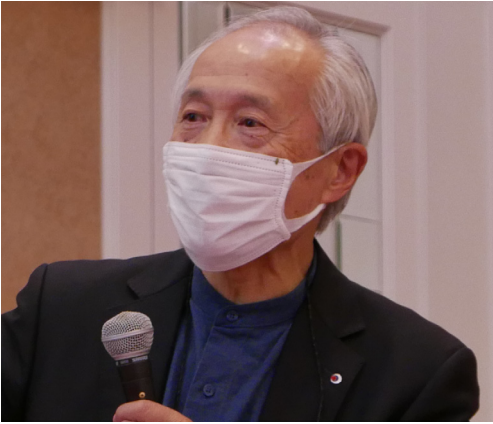
(次ページに続く)

(前のページより)

以前からジカ出血熱に対する mRNA ワクチンが作られていたと解説した。

今後の感染対策としては、ワクチン接種に加えて、マスク着用や対人距離の確保、換気など重層的な取り組みが大切であるとした。

今後の課題については感染予防効果が持続するワクチンの開発が必要であること、その鍵の一つは、いかにして SARS-CoV-2 に対する T 細胞免疫を効率的に誘導できるかであること、T 細胞はスパイク蛋白質以外にウイルスの N 蛋白質や M 蛋白質も認識できることから、今後はこれらのウイルス蛋白質も標的として用いることになるであろうと指摘。また、もう一つの課題は、いかにして副反応を今よりも低くできるかであり、これについては脂質ナノ粒子の膜成分の改良が必要と思われるとした。



m RNA ワクチンの安全性を説明する宮坂先生

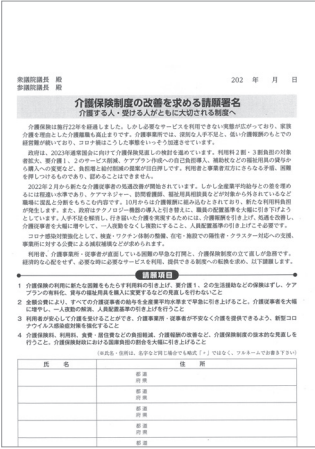
介護保険制度の改善を求める 請願署名にご協力を

介護する人・受ける人がともに大切にされる制度へ

厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会で「給付と負担」の議論が始まり、「介護利用料負担の原則 2 割化」「ケアプランの有料化」「要介護 1.2 の保険外し」「保険料引き上げの対象拡大」「介護施設の大部屋からも部屋代を徴収する」など給付削減と国民負担増が狙われています。介護保険始まって以来の大改悪と言われ、これまで以上に「保険あって介護なし」の事態が広がり介護を受ける人にも要介護者の家族にも事業者にもさらなる困難をもたらします。

経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度へ転換するために、署名にご協力をお願いします。(署名用紙は 4 面にて掲載)

署名の注文は TEL078-393-1807 まで



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当：大野まで



幹事会だより

第 422 回 11 月 10 日 (木) 参加 4 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

10/31 現在 医科 362 人 (74%)、歯科 212 人 (65%)

◆情勢と医療運動対策

11 月幹事会では、支部総会の総括、及び総会記念講演について意見が交わされた。今後の政策研究会と文化企画について検討した。円安などの経済問題、インボイス導入についての問題などの研究会を行ってほしいと意見が出た。

◆当面の支部活動

2023 年 2 月 4 日 (土) に新春政策研究会を「マイナンバーカードについて (仮) 」 (講師：加藤擁一副理事長・政策部長) をテーマに開催予定。

◆次回幹事会

12 月 1 日 (木) 14 時 30 分～「いたみホール 5 階 第 3 会議室」にて開催予定

お問い合わせは TEL 078-393-1817 小川・大野まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



- ★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
- ★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【12 月のテーマ】

月曜日 伝染性紅斑 (りんご病) 火曜日 乳歯のむし歯は永久歯に影響するの？

水曜日 気胸について 木曜日 ED の治療薬

金土日 医薬品の供給不足問題について

【年末年始のテーマ】

12/28 (水) ～ 1/5 (木) 梅毒

★都合により、テーマの一部を変更する場合があります。祝日は、前日のテーマを放送します。

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ (A6 サイズ) を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。